TOYAMA Prefectural University

ドンドンマスマス 富山県立大学

富山県立大学

看護学部
大学院看護学研究科
看護学専攻科

ひかり輝く未来を描こう。



ごあいさつ



看護学部長
看護学研究科長
教授 松井 弘美

北陸富山の地域を支え、未来を拓く看護職育成の拠点!
―ヒューマニズム、グローバリズムに根差した文理融合DX医療人の養成 ―

地域包括ケアシステムの構築、多職種連携･チーム医療の推進等の社会の変化に伴い、看護師の活躍の場は拡大し、高い実践能力が求められています。また、大学教育においては、今後迎える2040年問題に向けて、時代の変化に合わせて論理的に思考し、社会の課題を改善していく能力の育成が求められています。

看護学部では、実践力や探究心、創造力を有し、多職種と協働して地域に貢献できる看護師の養成を目指し、ゼミやメンター制によるきめ細やかな教育環境のもと、電子カルテやシミュレーションなどのDX教育、包括的コミュニケーション技法ユマニチュード®を取り入れた看護教育、県内全域の実習施設における地域に密着した実習等により高い看護実践力を育成しています。

また、学部卒業後には、大学院看護学研究科や看護学専攻科へ進学することができます。

大学院看護学研究科博士前期課程には、研究コースと専門看護師コースがあり、研究コースでは、深化した看護専門知識を持ち、多職種･多機関との連携･協働においてリーダーシップを発揮できる能力と広い視野を有し看護を探究する能力を備えた人材を育成します。専門看護師コースでは、富山県の現状を踏まえ、老年看護学分野の専門看護師を育成し地域の看護の質向上を目指しています。博士後期課程では、地域や社会の課題解決に向けた看護ケアを創出するための研究に取り組む看護教育者･研究者および看護実践の指導者を育成します。

看護学専攻科には、公衆衛生看護学専攻と助産学専攻があり、地域の多様な健康課題解決および健康を支援する地域づくりを実践できる保健師、女性とその家族を中心とした生涯にわたる健康支援を実践できる助産師を育成しています。

本学での学びを通して自身の能力を伸ばし、地域･社会に貢献できる看護職として活躍されることを願っています。

2026年（令和8年）4月

看護学部 沿革

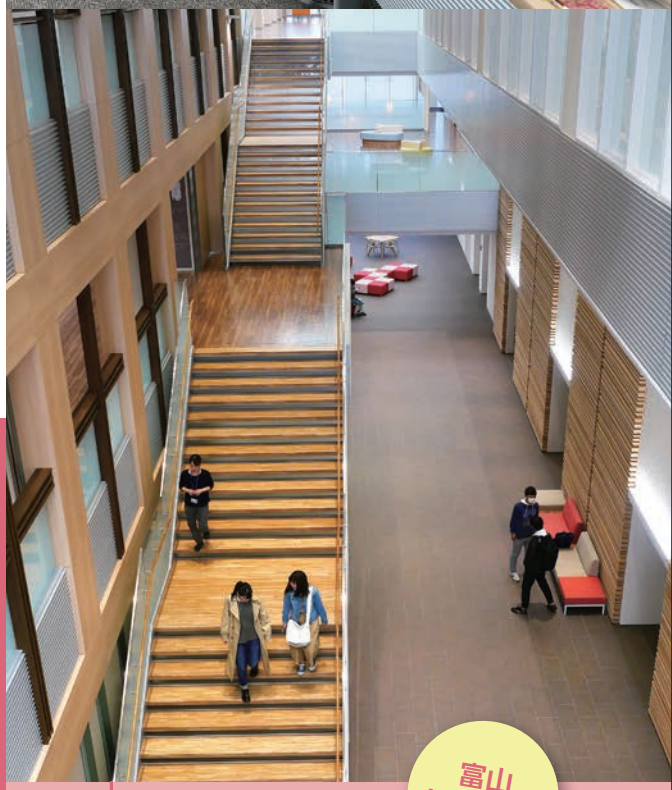
2019（平成31）年	4月	看護学部開設（看護学科設置）
2023（令和5）年	4月	大学院看護学研究科（修士課程） 看護学専攻科（公衆衛生看護学専攻、助産学専攻）設置
2025（令和7）年	4月	大学院看護学研究科（博士後期課程）設置 修士課程を博士前期課程に課程変更

CONTENTS

2 学部長挨拶、沿革
3 看護学部の特色
4 看護学部 5つの教育の特色
5 看護学部 看護学科
6 カリキュラム ～4年間の学びの流れ～
8 講座紹介
10 特色ある研究事例
11 キャリア形成支援および就職･進学情報
12 大学院看護学研究科
14 看護学専攻科
16 令和9年度 入学者選抜情報（予定）
17 令和9年度 大学院看護学研究科･看護学専攻科入学者選抜情報（予定）
18 在校生･卒業生インタビュー、富山キャンパス施設紹介
19 富山県立大学はあなたの夢を応援します
20 アクセス







富山キャンパス

看護学部

■ 看護学科

大学院看護学研究科

（博士前期課程 / 博士後期課程）

■ 看護学専攻

看護学専攻科

■ 公衆衛生看護学専攻

■ 助産学専攻

看護学部の特色



徹底した少人数教育で、教員との距離が近い

1年次から少人数ゼミを実施しています。1・2年次には、少人数形式のグループワークなどを行い、コミュニケーション能力、情報活用力、問題解決能力などの力を養います。また、教員一人当たりの学生数が少人数であることにより、教員との距離が近いと感じる学生が多いことも特色の一つです。学生からは、「授業で分からないことがあった時は気軽に質問できる。」、「研究のこと以外でも気軽に相談できる。」などの声が寄せられています。





看工連携による新たな学び

看護学部では専門基礎科目の中に「安全と快適を支援する看護学・工学連携」という区分を設けて、看護学部と工学部・情報工学部の教員が合同で行う3つの必修科目を設けています。「看護ケアと工学」では、人々の生活を支援するための看護・介護ロボットの作用原理や、医療事故防止のためのセンサ技術などを学びます。「生活支援と情報工学」では、人々の健康を維持・増進するためのICT（情報通信技術）活用などに重点を置いています。「先端医療論」では、医療診断技術、遺伝子治療、医療材料・機械デバイスなどの先端技術と、富山県立中央病院の医師・看護師による手術ロボット「ダヴィンチ」を中心に低侵襲手術やスーパーICUにおける治療の講義から、先端医療における看護の役割などを学びます。このように、看護学に工学的視点を取り入れることにより、「経験や勘」に頼る部分も多い看護ケア技術を、工学の力を使って「見える化」し、論理的に学びます。



ユマニチュードが学べる!

1年次から、絆を築くケア技法の「ユマニチュード®」を体系的に学び、高い看護ケア能力を身につけます。これは日本の看護学部では初めての実践です。ユマニチュードはイヴ・ジネスト氏らが創始し、東京医療センターの本田美和子医師が日本に導入した画期的なコミュニケーションケア技法です。知覚・感情・言語によるコミュニケーションに基づいた包括的ケア技法で、医療の現場でも大変注目されています。攻撃的だった認知症の高齢者が穏やかになったり、発達障がいのある子どもへの効果など、科学的検証にも取り組んでいます。

本学では、ユマニチュードの哲学や技法について集中研修を受けた教員がリーダーとなり、ユマニチュードの教育の充実を図っています。





看護学部

Faculty of Nursing

学生の看護力を最大限に伸ばします。

高度化する医療や超高齢社会に伴う看護の役割拡大に対応するため、看護の基礎教育を重視し、学生の看護力を最大限に伸ばします。

5つの教育の特色

1 「自ら学ぶ力」を身につける

少人数によるグループ学修やアクティブラーニングなど、主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れます。また、豊富なeラーニング教材を用いて、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。

専門的な知識・技術の修得はもちろん、物事を多様な観点から考察する能力や創造性を養います。

2 多様な実習の場で実践力をつける

先端医療を提供する富山県立中央病院をはじめ、県内の公的病院や訪問看護ステーション、様々な保健医療福祉施設で、地域に密着した実習を行います。

あらゆる健康段階にある方に適切な看護ケアを提供するための実践力を身につけます。

3 工学・情報工学的な視点を「看護の世界」へ

看護学と工学を横断する連携科目を配置し、工学的視点を取り入れた“人にやさしい看護”を学びます。さらに、DXが進展する社会に対応するため、デジタル技術への理解や活用力といったデジタルリテラシーも身につけます。

4 地域共生ゼミで地域の課題解決に向けて取り組む

1年次から「地域共生ゼミ」を通して、多様な視点から考え、創造し、表現する力を育てます。地域で暮らす人々との交流や、保健・医療・福祉の専門職からの学びを通して、地域に存在する課題とその解決策を探究します。

5 さらなるステップアップの道へ

保健師・助産師を養成する「看護学専攻科」、看護学を深く探究する「大学院看護学研究科（博士前期課程・博士後期課程）」を設置しています。看護学部卒業後も、本学で継続して学びを発展させることができます。

学位・資格

学士（看護学）
Bachelor of Science in Nursing ; BSN

看護師国家試験受験資格

看護学部 入学者受入方針［アドミッション・ポリシー］

富山県立大学は、科学技術の素養に富み人間性豊かな人材、そして創造力と実践力を兼ね備え、地域および社会に貢献できる人材の育成を教育の基本方針としています。

看護学部では、幅広い教養と人々への共感的態度を備えた人間性豊かな人材、さらに、創造力、実践力及び探究心を兼ね備え、多職種と協働しながら地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

以上の教育方針のもと、学生の皆さんの成長を確かなものとするために、次のような心構えや意欲を持った人の入学を希望します。

1. 人々の健康や生活に関心を持ち、幅広い基礎学力がある。
2. 困難な課題に直面しても、課題の解決に向けて主体的に取組み、努力しようとする。
3. 多様な考え方を尊重しながらも、自分の考えを表現し、他者との関係性を築いていける。
4. 自然・環境や人間を大切にし、自らの活動を通して地域社会に貢献したいと思う。

看護学部 看護学科



看護学科の特徴的な取組：VRを活用した新たな手術室看護教材開発

医療の高度化・役割の多様化に対応

近年、医療技術の高度化・複雑化により、医療現場からは質の高い看護師が求められています。また、医療の場は病院だけでなく多様化しており、地域で暮らす人々を支えるために広い視野を持つ看護師も求められています。

本学ではそのニーズに応えるために、一般教養に加えて看護の知識や技術を統合し、科学的に問題を解決する能力や倫理を含めた総合的な判断力を培うためのカリキュラムや実習を充実させています。

カリキュラムを看護師育成に特化

看護学部では、実践力・探究心・創造力を備え、多職種と協働して地域に貢献できる看護師の育成を目指し、教育課程を看護師養成に特化しています。質の高い看護を提供し、一生の仕事として自信をもって働き続けるためには、専門知識・技術に加えて、人間性を磨くことが欠かせません。その第一歩となるのが、看護基礎教育です。

本学ではこの看護基礎教育を重視し、専門的知識・技術の習得にとどまらず、課題対応能力や研究能力を十分に育成することを大切にしています。高度化する医療や超高齢社会における看護の役割・課題に応えられる力を養う教育を目指しています。これらの学びは、将来、保健師・助産師としての活躍はもちろん、高度実践、看護管理、看護教育、さらには看護研究へと進むための確かな礎となります。

想定される進路

看護師が活躍する場として、病院や診療所、訪問看護ステーション、保育所、保健福祉施設、企業（産業看護師）などがあります。一般的に大学卒業後、看護師として働く意思があれば、ほぼ100%就職が期待できます。

また、開業看護師として訪問看護ステーションやデイサービスなどを起業したり、将来的には海外で活躍することもできます。

加えて、看護学専攻科に進学すると、保健師や助産師の資格取得を目指すことができ、修了後は行政機関や助産院などで活躍の場が広がります。

さらに、看護学専攻の大学院に進学すると、医療機関の専門看護師や看護系大学の教員として働く道も広がります。

カリキュラム ～4年間の学びの流れ～

教育課程編成・実施方針 ［カリキュラムポリシー］

- **CP1**：心豊かな人間性、社会性と文化、自然について幅広い視野をもち、物事の本質を見抜く力を養う
- **CP2**：社会人として必要な主体性、柔軟性、発信力、傾聴力を身につける
- **CP3**：多様な文化や価値観をもつ対象の理解および良好な関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけ、専門職としての倫理観と責任をもって看護を遂行する能力を養う
- **CP4**：対象を生活者として全人的に捉え、対象と家族の健康課題の解決に必要な専門的知識・思考力を修得する
- **CP5**：科学的根拠に基づき個別性を考慮した看護ケアを安全に実施する能力を修得する
- **CP6**：対象が暮らす地域社会とそのケアシステムの役割を理解し、多様な健康課題に対応するために地域住民や医療・保健・福祉の専門職など対象に関わる人々と良好な関係を築きながら連携・協働できる能力を養う
- **CP7**：看護学および他の学問分野を含む幅広い知識と国際的視点を身につけ、情報・科学技術を活用しながら、その時代に適応した新たな看護を探究・創造し続ける能力を養う

		社会・環境	言語・文化	精神・身体	自然・情報	外国語	データサイエンスリテラシー科目	身体的・精神的側面の人間理解	疾病と回復過程
4年次	後期								
	前期								
3年次	後期								
	前期								
2年次	後期								臨床医学Ⅲ 臨床医学Ⅳ 臨床医学Ⅴ 臨床医学Ⅵ 栄養学
	前期					英語5			薬理学 臨床医学Ⅰ 臨床医学Ⅱ 臨床医学Ⅶ
1年次	後期	経済学Ⅱ 法学 日本国憲法 環境論	コミュニケーション演習 文学 海外研修科目（マレーシア）	哲学 健康科学Ⅱ 体力科学	科学 数学 情報科学	英語3 英語4		形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅲ	病理学 感染と防御
	前期	経済学Ⅰ 社会学 法学 日本国憲法 生命倫理 富山と日本海	コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ 比較文化学Ⅰ 比較文化学Ⅱ 国際関係論 海外留学科目（中国） 海外研修科目（米国）	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ コミュニケーションの社会学 健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ 体力科学演習	物理学 生物学 情報科学演習	英語1 英語2 海外研修科目 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	データサイエンスリテラシー	形態機能学Ⅰ 生涯発達心理学	
区分		人間の理解			教養科目			専門基礎科目	

PICK UP 講義

1 地域共生ゼミⅠ～Ⅳ

少人数形式で行うグループ学習により、看護の場で自分の考えを組み立て、発言できる基礎能力を養います。この科目は、工学部教養教育センターの教員と看護学部の教員が担当します。主体的な情報収集の方法、ディスカッションやプレゼンテーションの技術を学び、地域の課題や対策について多角的に探究する力、さらにコミュニケーション能力や表現力を高めることを目指します。

2 看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅲ

ユマニチュード(Humanitude)®は、フランス発祥の知覚・感情・言語によるコミュニケーションに基づいたケア技法で、医療の現場でも大変注目されています。1年次から「ユマニチュードの技法」を取り入れた看護ケアを学びます。

3 フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ

バイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧などの基本的な身体指標）と、視診・触診・聴診などで身体を評価するフィジカルイグザミネーションの基本的技術を学びます。これらを身につけることで、病院や訪問看護や地域保健など多様な場で人々の健康状態を正確に把握し、適切なケアにつなげるためのアセスメント能力の向上を図ります。

4 看護ケアと工学

看護学・工学連携科目の一つで、工学部・情報工学部・看護学部の教員が講義を担当します。看護ケアが患者・看護師の身体や心にどのような影響を与えるかを、看護学・工学・情報工学の視点から学び、人に優しい看護ケアについて考えます。

5 多職種連携論

チーム医療における多職種の機能や専門性に加え、看護の役割について学びます。また、ケアの受け手となるひとや在宅医療、地域包括ケアシステムに関わる多職種をつなぐマネジメント力と、連携・協働できるネットワーク能力を育成します。



学位授与方針［ディプロマポリシー］

DP1：人間・社会・文化・自然について広い視野と深い洞察力を備え、豊かな人間性と社会人基礎力を有している
DP2：専門職としての倫理を遵守し、多様な文化や価値観をもつ人々を尊重した良好な対人関係を築く能力を有している
DP3：対象を生活者として全人的に捉え、健康課題の解決のために、専門的知識と科学的根拠に基づき安全で質の高い看護を実践する能力を有している
DP4：地域社会の人々の健康および暮らしとケアシステムの関係性を理解し、対象に関わる全ての人々と連携・協働しながら多様な健康課題に対応できる看護を実践する能力を有している
DP5：多分野の知識と国際的な視野をあわせもち、情報・科学技術に基づき、時代に対応した新たな看護を生涯にわたり探究・創造し続ける能力を有している

黒字：必修科目、緑字：選択科目

区分	健康支援と社会保障制度	安全と快適を支援する看護学・工学連携	地域共生と看護	専門分野Ⅰ	専門分野Ⅱ		統合分野	
4年次 後期							臨床推論 看護マネジメント論 国際看護活動論 災害看護学 救命救急看護学 感染看護学 認知症看護論 生活習慣病と看護 がん看護論 排泄ケア論 看護ケアとユマニチュードⅢ	看護学研究Ⅱ
4年次 前期		先端医療論			在宅看護学実習	地域看護学実習	統合実習	
3年次 後期					成人看護学実習Ⅰ 母性看護学実習	成人看護学実習Ⅱ 精神看護学実習	5	看護学研究Ⅰ
3年次 前期				看護倫理学	成人看護学演習Ⅰ 老年看護学演習 小児看護学演習 母性看護学演習 在宅看護学演習	成人看護学演習Ⅱ 老年看護学実習 小児看護学実習 精神看護学演習 地域看護学演習	多職種連携論 家族看護論	
2年次 後期	公衆衛生学 地域ケアシステム論	4	地域共生ゼミⅣ	基礎看護学実習Ⅱ	成人看護方法論Ⅰ 看護過程論 小児看護方法論 精神看護方法論 地域看護学概論	成人看護方法論Ⅱ 老年看護方法論 母性看護方法論 在宅看護方法論 地域看護方法論		
2年次 前期	くらしと保健医療福祉	看護ケアと工学	地域共生ゼミⅢ	看護過程論Ⅰ フィジカルアセスメントⅡ 診療援助看護技術	成人看護学概論 小児看護学概論 精神看護学概論	老年看護学概論 母性看護学概論 在宅看護学概論	看護ケアとユマニチュードⅡ	
1年次 後期		生活支援と情報工学	地域共生ゼミⅡ	3 基礎看護学実習Ⅰ フィジカルアセスメントⅠ 生活援助看護技術				
1年次 前期		1	地域共生ゼミⅠ	基礎体験実習 基本看護技術 看護学概論		2	看護ケアとユマニチュードⅠ	
	専門基礎科目			専門科目				

地域に密着した実習

先端医療を提供する富山県立中央病院をはじめとする複数の県内公的病院など、県内全域の保健･医療･福祉の場で実習を行います。実習を通じてチーム医療や在宅医療、地域包括ケアについて学びます。看護の知識と技術を統合し、ケアの対象となる人とのコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、ニーズに合わせた看護ケアを発展させる実践能力を養います。

主な実習先

- 富山県立中央病院等県内公的病院
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
- 保育所
- 障害者社会復帰施設
- 市町村保健センター
- 地域包括支援センター
- 県厚生センター（保健所）　など





実習が多いって聞くけど、
実際の看護の場での実習が不安…。



学内には、実際の病棟を再現した実習室があり、最新のシミュレーターを備えています。実習に臨む前に、看護技術の演習やシミュレーターを活用した模擬演習を十分に行います。

また、実習では看護学専任教員が実習先と連携しながら、指導体制を整えてくださっています。実習先である病院や施設でも、指導担当の看護師さんをはじめ職員の皆さんが、私たちが安心して実習に取り組めるよう、実習環境を整え、あたたかく丁寧に指導してくださいます。



講座紹介

看護学科では、3分野8領域10講座を設置しています。

分野 基礎看護学

領域	講座	概要
基礎看護学	基礎看護学1	看護の対象はあらゆる発達段階にある人々であり、どのような健康状態であっても専門性を活かし、生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した看護を実践する責任･責務があります。そのため、看護の構成概念である看護・人間・健康・環境の理解を深めると共に、法や倫理的な側面にも配慮した看護を実践する能力を高めることが必要となります。 また、人々に提供する看護ケア技術は、理論と実践から構成されます。これらのことから、根拠となる最新の知見を基に、人々の‘安全･安楽･自立’を重視した看護ケア技術のアップデートならびに創成を目指しています。 本講座では、看護ケアが人々や看護師に与える心身への影響および教育方法について教育研究を行います。
	基礎看護学2	



分野 臨床看護学

領域	講座	概要
成人看護学	成人看護学(急性期)	成人期にある人々の特徴をライフサイクルから捉え、心身機能、発達課題、家庭や社会の役割から健康障害や治療に伴う人間の反応を理解することは重要です。 急性・回復期の看護では、成人期にある人の周術期における、生命、精神・心理的、社会的危機を踏まえた包括的なアセスメントの視点と援助方法、そして、生命の危機的状況から回復・社会復帰していくプロセスに必要な、具体的な看護と理論について、理解を深める必要があります。本講座では、これらに焦点を当て、手術を受ける患者とその家族の看護に関する課題を中心に教育研究を行っています。また、VR（バーチャルリアリティ）教材を活用し、学生が手術室の環境や手技をリアルに学習できる機会を提供しています。



領域	講座	概要
成人看護学	成人看護学(慢性期)	成人期にある人々の特徴をライフサイクルから捉え、心身機能、発達課題、家庭や社会の役割から健康障がいや治療に伴う人間の反応を理解することは重要です。 成人期に慢性疾患を有し、生涯にわたって生活のコントロールが必要な人とその家族がその人らしい社会生活を送ることや、緩和ケアを必要としている健康障がいを持つ人と、その家族ができる限り良好なクオリティ・オブ・ライフを実現することは大切です。慢性・緩和期にある人の看護では、慢性疾患の病態・疾患・治療を踏まえた具体的な看護援助方法と、対象者の個別性や尊厳を踏まえた看護について、理解が深められるように教育研究を行っています。



領域	講座	概要
老年看護学	老年看護学	老年看護学では、「高齢者の人生に寄り添う看護」を学びます。年齢を重ねるということは、できないことが増えるだけではありません。その人が歩んできた歴史や積み重ねてきた想い、今も持ち続けている力に目を向け、その人らしく暮らし続けられるように支えることが老年看護の大切な役割です。授業では、高齢者の“その人らしさ”を大切にする視点、心身の変化を理解し強みを引き出すコミュニケーション、家族や地域とつながりながら支える看護を学びます。また、講座では、認知症の人やその家族、地域の方々、専門職が交流できる「認知症ばすけっと」という活動にも取り組んでいます。これは、「認知症の人も、そうでない人も一緒に交流できる場」をつくる地域参加型の取り組みです。さらに、身体拘束のないケアや認知症看護など、社会が今まさに向き合っている課題について国際的視点からも検討し、「どのようにすれば高齢者の尊厳を守れるのか」を探究しています。



分野 地域看護学

領域	講座	概要	
在宅看護学	在宅看護学	近年、病院の機能分化が進み、疾患や障害をもちながら在宅での療養生活を送ることが求められています。そのような社会背景の中で、在宅医療および在宅看護の重要性はますます高まっています。将来の看護職にとって、在宅看護の概念や目的、役割を理解することは重要となります。 在宅看護学講座では、障害や疾病をもちながらも、住み慣れた地域でその人らしい「暮らし・生活」を継続できるよう支援することを目的として、教育・研究に取り組んでいます。対象者は0歳から100歳を超える高齢者まで幅広く、障害や疾患の種類も多様です。具体的には、入院前から始める退院支援、退院から在宅療養へと移行する過程における看護職の役割、訪問看護における看護実践について教授しています。また、在宅看護に特有の看護技術を修得するとともに、地域におけるケアマネジャーをはじめとする多職種との連携について理解を深めることを目指しています。	
地域看護学	地域看護学	本講座は、学部での基礎教育における地域看護学と専攻科での公衆衛生看護学、大学院看護学研究科での地域・在宅看護学研究を教授し、専攻科では保健師養成教育を担っています。 学部における地域看護学は、地域で生活する、様々な健康レベルの個人・家族・小集団・地域（コミュニティ）を対象とし、これら対象の持つ多様な健康課題に対応するために、一次-三次予防の観点から各対象の健康状態のアセスメント及び支援技術を教授しています。また、この学びから課題解決に向けた各種機関との連携・調整や保健医療福祉に関連する法律や施策について理解を深めることを目標としています。 専攻科における公衆衛生看護学では社会的公正の理念のもと、複雑な課題をもつ人々への支援、組織支援、コミュニティ支援および健康危機管理や健康政策について学修を深め、公衆衛生看護学における実践と研究を教授しています。 大学院研究科においては、地域/公衆衛生学に関連する多様な地域の健康課題解決に向けた研究方法を教授しています。 また、講座教員独自のテーマによる研究活動や自治体・各種団体等との共同研究の実施や研修への出講等の地域貢献活動も行っています。	

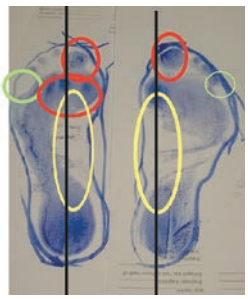
領域	講座	概要	
小児看護学	小児看護学	小児看護の対象は小児と家族であり、社会の変化の中で小児と家族が抱える健康課題を捉えて看護を行うことが求められます。そのため、小児看護学では、子どもの権利、子どもの身体的・精神的・社会的特徴、成長・発達の特徴、子どもと家族の健康を支える社会資源や制度などについての学修に重点を置いています。また、子どもとの関わりを通して、成長発達に応じた日常生活の援助と集団生活における感染防止や事故防止のための環境調整についての理解を深めることも重要です。本講座では、子どもの成長発達を促す援助をはじめ、病気・障がいをもつ子どもと家族の看護の在り方について教育研究を行います。	
母性看護学	母性看護学	母性看護学では、「母性とは何か」を考えながら、母性看護学の基本的概念や、看護実践の基盤となる理論、倫理的な問題への向き合い方を学びます。また、ウィメンズヘルスについても学び、女性がライフサイクルの中で経験するさまざまな健康上の課題に目を向けます。 さらに、妊娠から出産、産後の母親と赤ちゃんの健康状態について、身体的・心理的・社会的側面から総合的に考え、家族の役割や機能の変化と対象に必要な看護援助について、個別性を踏まえた看護について学びます。 これらの学びを通して、母性看護の意義と役割、そして社会の変化に合わせて母性看護がどのようにあるべきかを考える力を身につけることを目指します。 本講座では、こうした母性看護学に関わるさまざまな課題について、教育や研究を行います。	
精神看護学	精神看護学	精神的健康を、「身体的」「精神的（心理・スピリチュアル）」「社会的」という多面的視点から包括的に捉え、障がいも生活を構成する一側面として理解することは、現代社会において重要です。精神看護学では、人間の成長発達やライフイベントに伴うストレスが精神的健康に及ぼす影響や、危機に対する反応と回復のプロセスについて理論的に学び、人間のこころと行動について理解を深めます。また、精神医療の歴史的変遷や日本における法制度の展開と現状の課題について体系的に学修します。講義・演習・実習を通して、精神的健康の保持・増進を支えるための専門的知識、実践的技術を修得するとともに、その発展に寄与する教育研究を行います。	

特色ある研究事例

糖尿病足病変の予防・重症化回避に向けたフットケア教育支援
—運動学的視点を取り入れた看護師向けWeb教材の開発—

研究代表者
濵野 初恵
看護学部 看護学科
講師







研究の概要

糖尿病足病変は、末梢神経障害・末梢動脈疾患などを背景に、足潰瘍や感染から下肢切断へ進展し得る重篤な合併症です。外来診療では限られた時間でリスクを見逃さない看護師の臨床判断が鍵となります。本研究は、足病変リスクの評価において視診・触診に加え、姿勢・歩行・関節可動域などの運動学的視点がフットケアにおいて重要である点に着目し、理学療法士の知見も取り入れながら、看護実践における評価の質向上と早期介入につながる教育支援の構築を進めています。

研究成果

糖尿病足病変の指導に関わる看護師を対象に半構造化面接を実施し、フットケア実践に求められる学習ニーズを抽出しました。抽出されたニーズは、動作観察を取り入れたリスク評価の視点、多職種連携を進めるための判断、患者指導の要点など、臨床判断を支える内容として整理されました。次に、これらの知見を基盤として、評価の視点を段階的に学べる6チャプター構成のWeb教材を試作し、臨床場面での活用を想定した構成としました。さらに、認定看護師による評価とフィードバックを通して、内容の妥当性に加え、学習のしやすさと現場での運用可能性を検討し、構成や提示方法に関する改善点を明確化しました。

今後の展望

今後は、教材を用いた学習効果を縦断的に評価し、リスク同定、ケア選択、連携判断といった臨床判断の変化を検証していきます。併せて、外来・在宅を含む継続ケアの現場における実装可能性を評価し、多職種連携の運用モデルとして展開します。これらの成果を通して、足病変の発生・再発抑制、生活機能の維持、下肢切断予防およびQOL向上に資する教育モデルの確立を図り、地域におけるフットケアの質保証に貢献したいと考えています。

ニューロフィードバック技法を利用した脳活性の見える化システムの開発と評価
～日本とタイの伝統音楽を基にしたエンターテインメント・ケアプログラムの評価を基に～

研究代表者
清水 暢子
看護学部 看護学科
教授



共同研究者
アントニオ オリヴェイラ ズィンガ レネ
情報工学部 データサイエンス学科 准教授
山田 恭子 佛教大学 保健医療技術学部 教授
長谷川 昇 同志社女子大学 看護学部 特任教授
梅村 朋弘 中京大学 スポーツ科学部 准教授
加藤 真弓 愛知医療学院大学 リハビリテーション学部 准教授
萬屋 京典 星城大学 リハビリテーション学部 講師

研究の概要

本学は、タイの国立チェンマイ大学看護学部および公立ランパーンラチャパット大学看護学部と学術協定を締結しており、継続的な国際共同研究体制のもとで本研究を推進しました。

タイでは急速に高齢化が進んでいますが、特に農村部では認知症予防の体制が十分に整っていません。これまでの共同研究により、タイの高齢者は日本の高齢者と比較して、注意力や同時に複数のことを考える力など、前頭部の働きに関連する機能が低い傾向にあることが明らかになっていました。また、その低下が比較的早期からみられることも課題でした。

そこで本研究では、日本で効果が確認されていた音楽運動療法を基盤に、日本の鳴子（伝統楽器）とタイの伝統音楽に合わせたエンターテインメント・ケアプログラム（ECP）を開発しました。本プログラムは、日本の鳴子（楽器）を日本とタイの伝統音楽に合わせて鳴らしながら、身体や手首を動かし、指導者の動きを模倣するという、身体活動と認知活動を同時に行うデュアルタスク（二重課題）が特徴のプログラムです。軽度の認知機能低下がみられるタイの高齢者を対象に、2週間に1回60分、6か月間の介入を日本からオンライン会議システムを利用して行いました。さらに脳の働きを測定する機器を用い、運動中の脳の血流変化をリアルタイムで可視化する「BrainVisualMonitor」を開発・応用しました。参加者が自らの脳の働きを画面で確認しながら運動を行う群と、可視化を行わず運動のみを実施する群を設定し、その効果を比較しました。

研究成果

研究の結果、脳血流変化をリアルタイムで可視化しながらECPを実施した群は、ECPのみを実施した群と比較して、有意に高い認知機能の向上が認められました。特に、集中力や記憶力、課題を切り替える力といった前頭部の働きに関わる機能の改善が確認されました。また、脳の活動を自分の目で確認できることにより、参加者の意欲や主体性が高まり、継続率も向上しました。これは、脳の変化を「見える化」することが、運動への取り組み姿勢に良い影響を与えた可能性を示しています。本研究は、伝統文化に根ざした身体活動とデジタル技術を融合させることで、認知機能の向上に寄与する新たな支援方法を提示しました。医療や福祉分野において、脳活動の可視化を取り入れた介護予防プログラムの有効性を示した点は、学術的にも意義のある成果です。

今後の展望

今後は、より長期間の介入や追跡調査を実施し、効果の持続性を検証します。また、専門職が常駐していない地域でも活用できる簡易版システムの開発を進め、地域住民やボランティアが主体的に実施できる仕組みづくりを検討します。本研究は、日本とタイの国際共同研究として実施され、伝統舞踊という文化資源と脳科学技術を融合させた点に特色があります。今後は、日本を含むアジア地域における高齢者支援モデルとして、国際的な介護予防の質向上を目指していきます。



図1 今回介入を実施したタイ・ランパーン県



図2 自分の脳活性をBrainVisualMonitorで確認中のタイ高齢者


図3 日本からのオンライン指導を受けながらECPを実施中のタイ保健センター

身体活動の視点に基づく分娩介助技術教育プログラムの開発

研究代表者
西村 香織
看護学部 看護学科 講師



共同研究者
松本 賢太 情報工学部 知能ロボット工学科 講師
松井 弘美 看護学部 看護学科 教授
神谷 和秀 情報工学部 知能ロボット工学科 教授

研究の概要

今日、出生数の減少、妊産婦の高齢化、ハイリスク化を背景に、母体の安全に配慮した分娩介助が求められています。中でも、高齢出産においては筋繊維の萎縮による会陰の伸展性低下を起因とした会陰裂傷が起こりやすく、妊産婦死亡の原因となる産科危機的出血に繋がる危険性があります。そのため、助産師には、分娩介助技術の中でも、会陰損傷を予防しながら児を娩出させる「会陰保護技術」の習得が重要となります。

現在の助産師基礎教育では、学内で分娩介助技術練習を行い、臨床で10例を目標に分娩介助実習を行っていますが、経験知を積み重ねることで習得する会陰保護技術は実践の中でも習得が困難な状況です。

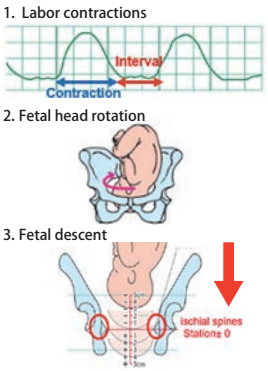
限られた経験の中で技術を習得するには、実際に分娩現象を模擬できる装置の開発が必要だと考えました。また、会陰保護において最も難しいとされるのは、右手と左手の圧力を調整しながら児頭の娩出速度、胎児の娩出方向の調整を行うことにより、会陰への負荷を最小限におさえる技術です。その技術の習得に向けて、熟練助産師の手指の圧力や、手指の動きや掌屈に連動する身体の動きを解明し、可視化できる教材を開発したいと考えました。

研究成果

情報工学部の先生方との連携により、これまでに、自然な分娩現象である陣痛周期、児頭回旋および児頭下降を再現可能にする分娩模擬装置を開発しました（図1参照）。分娩模擬装置を用いて、一定条件下で手指をはじめ、身体の活動をどのように測定できるかプレ実験を行い、可視化できることを検証しました（図2参照）。今後は、モーションキャプチャや床反力計、圧センサ等を用いて、熟練助産師の会陰保護技術を可視化することを目指します。



図1 自然な分娩現象である陣痛周期、児頭回旋、児頭下降を再現できる分娩模擬装置



研究の展望

今後は熟練助産師のデータ収集を進め、初心者のデータとの比較から熟練助産師の会陰保護技術の特徴を明らかにし、助産師教育のためのプログラムの開発をすすめていきます。少子化が進む中、助産学生のみならず、新人教育にも展開し、母子の安全を守る人材育成に貢献したいと考えています。

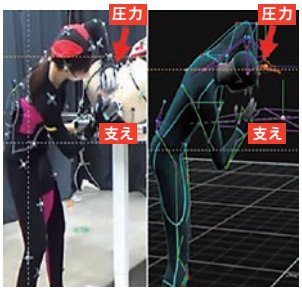


図2 会陰保護技術に関する身体活動の可視化

キャリア形成支援および就職・進学情報

キャリアセンターサテライト

キャリアセンターのブランチとして、富山キャンパスにはキャリアセンターサテライトが整備されており、看護学部生の皆さんが希望する進路を実現できるよう、サポートしています。

キャリア形成に関するオリエンテーションや、就職・進学それぞれに役立つイベントを実施したり、医療機関等の就職情報を提供したりするなど、学生の皆さんのニーズに応えた細やかな支援を行っています。

キャリア支援の事業等

イベント等

- 進路選択や就職活動の参考となる各種セミナー
- 若手の看護職等との交流会
- 進学に関する説明会
- 県内医療機関等を紹介する説明会

サテライト内での情報提供

- 医療機関等の採用募集や大学院等の学生募集、各種奨学金等の情報
- 実習から就職活動、卒業後の看護職のキャリア形成に役立つ幅広い分野の書籍や各種お役立ち情報

看護学部卒業生の就職・進学率（%）

卒業年度	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）
就職率 ※1	100	100	100	100
進学率 ※2	25.8	20.7	19.7	19.5

※1: 就職希望者に占める就職内定者の割合
※2: 学部卒業生全体に占める大学院等進学者の割合



富山県立大学 看護学部 応援キャラクター
看護学部のカンちゃん

- 富山県立大学看護学部を応援する、九官鳥をモデルにしたキャラクター。
- 頭と心はいつでも看護学部のことでいっぱい。その影響で、体の色は優しさや思いやりを表すピンク色に、ヘアスタイルは富山県立大学のマークの形に、眼の横の模様は「kango」のKになっています。
- 看護師を目指す学生に、好奇心旺盛な自らを重ねて、様々なことに興味を持ち可能性を広げていって欲しいと願っています。

看護学部卒業生の進路状況

●卒業生の主な就職先

富山県立中央病院、あさひ総合病院、黒部市民病院、富山ろうさい病院、かみいち総合病院、富山大学附属病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、高岡市民病院、済生会高岡病院、JCHO高岡ふしき病院、厚生連高岡病院、金沢医科大学氷見市民病院、北陸中央病院、市立砺波総合病院、南砺市民病院、その他県内外の病院　等

●卒業生の主な進学先

富山県立大学看護学研究科、同看護学専攻科（公衆衛生看護学専攻、助産学専攻）　等

大学院看護学研究科

大学院看護学研究科では、経験や年齢、職場の異なる看護職者が共に学んでいます。

- ストレート進学者はアドバンスト看護の基盤を学びます
- 中堅期の看護職者はリスキリングの機会で、実践成果の根拠づけを学びます
- 管理期の看護職者は職場を離れて視点の転換と視野の拡大ができます



■ 博士前期課程

1 教育理念

博士前期課程では、看護職者としての倫理観と広い視野を持ち、高度な看護実践能力を備え、看護の課題を科学的に探究し、地域や社会の発展に寄与できる人材を育成します。また、これらを通して、将来の看護学研究者の基礎となる能力を持つ人材を育成します。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

博士前期課程の入学者には、看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する次の素養をもった人を求めます。

1. 看護学の基礎知識と総合的な学力を有する人
2. 豊かな人間性と高い探究心を持ち、自主的・意欲的に学び、看護学の向上に寄与したい人
3. 倫理観及び、地域社会や国際社会に貢献する意思と責任感を有する人

3 定員・修業年限・コース

- 定員：10名
- 修業年限：2年
- コース

看護学専攻の1専攻に2つのコースがあります。

研究コース	「基礎看護学」「成人看護学」「老年精神看護学」「母子看護学」「地域在宅看護学」の5分野から1つを選択し、研究します。
専門看護師コース	修了により、実務経験等に応じて老人看護専門看護師の認定審査の受験資格を取得できます。

■ 博士後期課程

1 教育理念

博士後期課程では、看護学の専門領域に関する教育・研究を自立して行い、多元的・多角的視点から、地域や社会の保健医療福祉のニーズに対応し、看護学を発展・牽引する高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成します。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

博士後期課程の入学者には、看護師資格を有する次の素養をもった人を求めます。

1. 看護に関する高度な知識と実践能力を有する人
2. 看護学の教育・研究に深い関心と本質を探究する論理的思考力を持ち、看護研究に関する基礎的能力を有する人
3. 地域や社会の保健医療福祉における多様な課題解決に向けて主体的に取り組む意欲のある人

3 定員・修業年限

- 定員：2名
- 修業年限：3年



社会人に対する配慮

(1)教育方法の特例

夜間・休日等に授業や研究指導を行い、さらに夏期休暇等の長期休暇期間を利用した集中講義を併せて行うほか、個々の事情に配慮した指導時間を設定するなど、社会人学生の履修に配慮します。

(2)長期履修制度

定職を有する等、修業年限(博士前期課程:2年、博士後期課程:3年)以内での修了が困難な場合、修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間内で計画的な履修をすることができます。(授業料は修業年限で修了する場合と同額)

(3)教育訓練給付制度

看護学研究科は、教育訓練給付制度の対象講座として厚生労働省の指定を受けています。教育訓練給付は雇用保険に加入している等一定の受給要件を満たす方が、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した場合に、その費用の一部が教育訓練給付金として支給されるもので、大学院での学び直しを目的とする方には経済的なメリットが大きいです。(支給条件等詳細は厚生労働省ホームページまたはお近くのハローワークへご確認ください。)

在学生インタビュー



Interviewee
山本 奈央さん
博士前期課程
(2025年度入学)
研究コース

研究テーマを教えてください

終末期患児の看取りを行う看護師に焦点を当てて、研究に取り組んでいます。子どもの死は家族にとってだけでなく、患児と関わってきた看護師にとっても精神的苦痛が生じる出来事となります。看取りの対象が成人である分野とは異なり、対象が子どもであるからこそ、個人の認知・言語能力や発達段階なども看護に関わってくるため、小児の特有性にも着目して研究を進めていかなければならないと考えています。

研究科の魅力や進学してよかったことは?

同学年の中には看護師・助産師・保健師の方が在籍しており、講義の中でディスカッションを行う機会が多く設けられているため、豊富な経験に基づいた事例や考え方を教えていただけ、新たな視点や知識を得られることです。また学部の時よりも発表する機会が多く、自身の考えを制限時間内に相手に伝わりやすく表現する能力を鍛えることもできます。

なぜ大学院に進学したいと思いましたか?

大学4年生の春まで、進学と就職で悩んでいましたが、教員と話すうちに自分の研究したいと思える事柄が漠然と頭の中で浮かんだことが一番の理由です。大学4年時には文献検討を行いますが、大学院に進学すれば、教員の指導の下、研究を自身で行うことができます。また大学院に行くことで、自身のキャリアの幅が広まることも進学を決めた要因となりました。

仕事・私生活と学業をどのように両立させていますか?

大半の講義が夜間に行われるため、昼間は課題やバイトに取り組んでいます。昼間、大学に行ける時には研究を進めたり、講義後は研究室に寄って読みたい論文を探したりと大学に滞在している時間はできる限り研究に充てるように意識しています。休日は自分の趣味を楽しんでいます。学部の時よりも研究科では時間の自由度が高く、自分を律せているのか不安ですが、これからもメリハリのある生活を意識していきたいと思っています。

卒業後の進路展望について教えてください

看護師として臨床の場で働きたいと考えています。大学院では自身の研究領域以外の学びも深まります。そのため、研究しているテーマは小児看護や終末期看護ではありますが、領域を問わず様々な病棟で活躍できる看護師を目指したいと思っています。また看護師として働く中で、研究したい事柄が生じるのであれば、再び大学院の道に進みたいと考えています。

修了生インタビュー



Interviewee
山野井 真希さん
博士前期課程
専門看護師コース
(2026年3月修了)

大学院で得た学びと今後について

働きながら大学院で学ぶというのは、想像をはるかに超えて大変なことの連続でした。入学当初は「恐ろしいところに来てしまった…」と思ったものです。

1年目はほぼ毎日、日中は仕事、夜は大学という生活でした。課題に追われて倒れそうでしたが、そのおかげで言葉にして伝える力は磨かれたと思います。

2年目は県内の老年看護CNSの先輩方のもとで病院実習させていただき、分析する力、独りよがりにならずにメンバーを巻き込み協働する力の大切さ、難しさを改めて実感しました。実習中は担当患者さんについて「その人に何が必要なのか」「自分に何ができるのか」ということをじっくり考えることができて、大変貴重な時間だったと思っています。

長期履修制度を利用した3年目は「足と健康」をテーマにした研究に取り組み、地域の介護予防教室へ出かけていって調査を行いました。地域の高齢者のパワフルさに圧倒されつつ、「高齢になっても元気に楽しく暮らしていくことに貢献したい」という気持ちを再確認しました。

振り返ると、大変刺激的な3年間でした。「もうダメかも…」と思うことも何度もありましたが、そのたびに先生方や仲間に助けられました。大学院を修了してもCNSの認定試験はこれからなのでまだ道は半ばですが、大学院での経験が、立ち止まりそうになる背中をポンと押してくれるような気がします。老いることは苦しいことかもしれませんが、そんな厳しい現実の中にも元気が出ること、楽しいことを忘れない。そんな看護を実践できるCNSになれるよう今後も挑戦を続けます。

看護学専攻科

専攻科とは、学校教育法第91条に基づき、大学を卒業した者に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的とし、置くことができるものです。富山県立大学看護学専攻科は、科学技術の素養に富み人間性豊かで、創造力と実践力を兼ね備えた、富山県の保健・医療・福祉に貢献できる保健師、助産師を育成することを目的としています。このため、公衆衛生看護学専攻（保健師養成課程）、助産学専攻（助産師養成課程）の2つの専攻があります。

■ 公衆衛生看護学専攻

公衆衛生看護学専攻では、「地域の多様な健康課題解決」並びに「健康を支援する地域づくり」を実践できる保健師を育成します。

授業科目

公衆衛生看護学原論、公衆衛生看護倫理、対人支援方法論、組織・コミュニティ支援方法論、社会システム支援方法論、ライフサイクル保健活動論、生活・障害支援活動論、対人支援技術演習、産業・学校保健活動論、多文化共生保健活動論、健康危機管理論、公衆衛生看護管理論、公衆衛生看護疫学演習、保健統計学、地域保健医療福祉行政論、環境保健論、医療経済学、地域生活支援実習、公衆衛生看護活動実習、公衆衛生看護管理実習、産業・学校保健実習、公衆衛生看護学研究

修了後取得できる資格

- 保健師国家試験 受験資格
- 保健師国家試験合格後、第1種衛生管理者の申請資格
- 保健師国家試験合格後、養護教諭2種免許の申請資格（※）

※「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」を大学等で修得していることが必要。



■ 助産学専攻

助産学専攻では、「女性とその家族を中心とした生涯にわたる健康支援」を実践できる助産師を育成します。

授業科目

助産論、周産期論、ウィメンズヘルス、母子と家族の心理・社会学、診断・技術学Ⅰ妊娠期、診断・技術学Ⅱ分娩期、診断・技術学Ⅲ産褥・新生児期、健康教育論、地域・国際母子保健、助産管理、助産実習、地域母子保健実習、助産管理実習、助産学研究

修了後取得できる資格

- 助産師国家試験 受験資格
- 受胎調節実地指導員 申請資格
- 新生児蘇生法専門コース（Aコース）修了認定資格



社会人に対する配慮

●教育訓練給付制度

看護学専攻科は、教育訓練給付制度の対象講座として厚生労働省の指定を受けています。教育訓練給付は雇用保険に加入している等一定の受給要件を満たす方が、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した場合に、その費用の一部が教育訓練給付金として支給されるもので、学び直しを目的とする方には経済的なメリットが大きいです。（支給条件等詳細は厚生労働省ホームページまたはお近くのハローワークへご確認ください。）

■ 公衆衛生看護学専攻

地域の健康課題を解決する プロフェッショナルとしての保健師育成

公衆衛生看護学専攻では、公衆衛生看護学の知識や技術を通して、住民や関係機関と協働し、個人・家族・組織・地域等の集団の健康の保持増進及び、保健・医療・福祉システムの発展に寄与する、将来リーダーとなる人材を育みます。さらに、各集団のライフサイクルや健康状態に応じた課題解決能力を育み、未来社会に対応できる保健師として広い視野と高い倫理観に基づいて行動する、プロフェッショナルとしての姿勢を持つ人材を育成します。

特徴ある科目

公衆衛生看護疫学演習

公衆衛生看護の特性の一つは集団を対象とすることであり、集団の健康観察と分析、保健福祉事業の評価を行うための基本となる疫学の基礎知識を修得します。さらに、疫学調査、スクリーニングなどについて理論学習と演習を行い、活用能力を養います。

健康危機管理論

公衆衛生看護活動における健康危機状態として、災害やパンデミック等の内容とその特徴に応じた対応、災害発生時や継続対応、平時からの対策や計画策定、基盤となる法制度・組織・システムについて教授し、公衆衛生看護実践における健康危機の活動実践能力を養います。

■ 助産学専攻

助産活動における自律して臨床判断できる助産師育成

現在、ハイリスク妊娠の増加や、子育てにおける家族機能の弱体化など課題が多くあります。助産師は正常分娩の助産と母子の健康を守る役割を担っており、その過程には自律した判断力が求められます。本助産専攻では、正常な妊娠・分娩経過を診断する能力や、正常から異常への移行を的確に判断できる臨床判断能力を高める教育を取り入れ、女性とその家族を中心とした生涯にわたる健康支援を実践できる助産師の教育を目指しています。

特徴ある科目

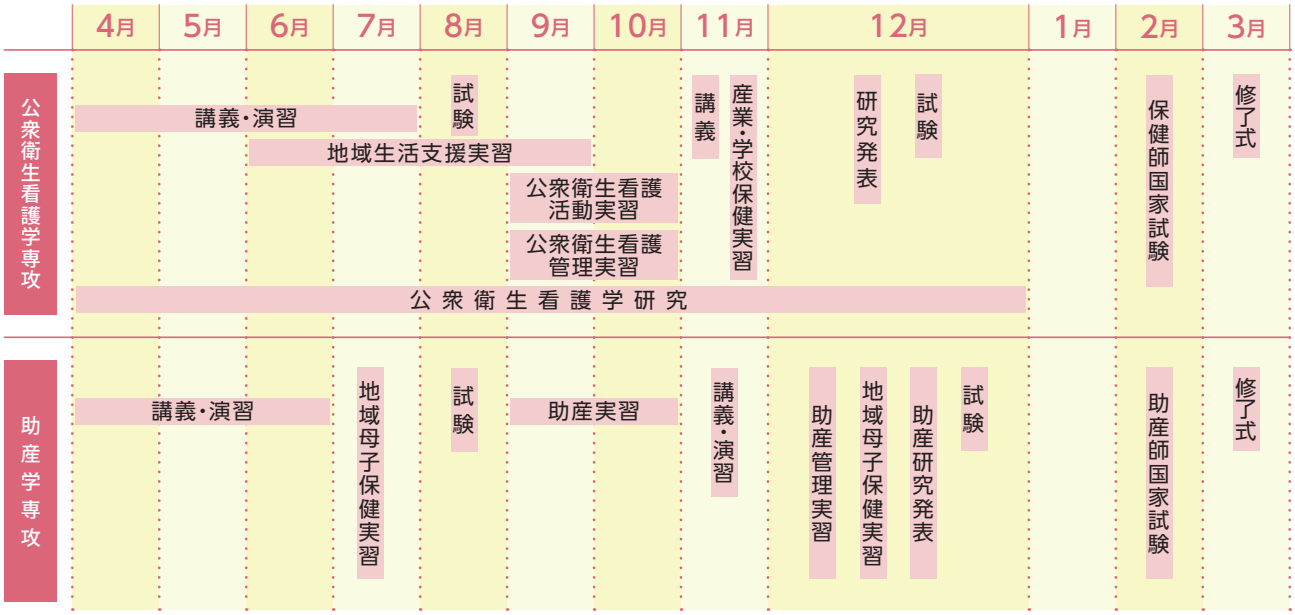
診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

この科目では、助産の実践能力を身につけるため知識や技術・態度を学び、助産過程の助産診断から、より生理的な状態で妊娠・分娩が推進することや妊産褥婦が主体的に出産や育児にのぞむための支援について学びます。また周産期のメンタルヘルスやハイリスク産婦への対応、正常からの逸脱や異常を予測する臨床判断能力、緊急時に対応できる能力を養うため講義とグループ学修、シミュレーションを導入した演習を行います。

健康教育論

女性の健康をめぐるさまざまな課題において、健康教育、知識の普及・啓発、健康相談を助産師として実践するための基礎的能力の修得を目指します。健康教育に必要な理論を学修し、実践に適用するために対象の特性に合わせた健康課題を抽出し、課題解決に向けた方策を考え、多様なニーズに応えた健康教育が実践できるよう講義・グループ演習を行います。

年間スケジュール



令和9年度

入学者選抜情報（予定）

※本ページの内容はあくまでも予定ですので、必ず9月中旬に公表する学生募集要項を確認してください。
※本学では、インターネット出願を導入しています。詳細については、インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/pu-toyama/）で確認してください。（7月頃公開予定）

一般選抜

選抜方法　入学者の選抜は、大学入学共通テスト、小論文（前期日程のみ）、面接の結果及び調査書の内容を総合して行う。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等、小論文及び面接

日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等 小論文及び面接				配点 注2 国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	計
前期日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」 注3	6教科6科目 注1	150点	100点	150点	100点	200点	100点	－	－	800点
		地歴公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「地理総合／歴史総合／公共」「公共，倫理」「公共，政治・経済」から１科目 注4										
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から１科目 注5										
		理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 注6										
		外国語	「英語」 注7										
		情報	「情報Ⅰ」										
	小論文			50分	－	－	－	－	－	－	100点	200点	300点
	個人面接												
	計				150点	100点	150点	100点	200点	100点	100点	200点	1,100点

日程	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等 面接		配点 国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	計
後期日程	大学入学共通テスト	前期日程に同じ	150点	100点	150点	100点	200点	100点	－	800点
	個人面接		－	－	－	－	－	－	200点	200点
	計		150点	100点	150点	100点	200点	100点	200点	1,000点

注1 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。
注2 得点を換算して利用する教科・科目がある。
注3 「国語」については、近代以降の文章のみを合否判定に利用する。
注4 「地歴公民」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「地理総合／歴史総合／公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。
注5 「数学」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。
注6 「理科」について、複数の科目を受験している者については、高得点の科目を合否判定に利用する。ただし、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答すること。
注7 「英語」については、リーディング及びリスニングの両方を合否判定に利用する。

試験会場　富山市内（本学）

学校推薦型選抜

選抜方法　入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除して、推薦書・調査書の内容、個別テスト（英語、数学）、小論文及び面接の結果を総合して行う。

個別テスト実施教科・科目等

実施科目及び時間			配点 個別テスト 英語	数学	小論文	面接	計
英語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ	60分	100点	100点	100点	200点	500点
数学	数学Ⅰ・数学A 注1	50分					
小論文		50分					
個人面接							

注1 「数学A」は「数学と人間の活動」を除く。

試験会場　富山市内（本学）

募集人員

学科	入学定員	募集人員 学校推薦型選抜	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程
看護学科	120名	48名※	62名	10名

※1校から推薦できる人数は、6名以内とする。（富山県内の高等学校等の推薦に限る。）

令和9年度

大学院看護学研究科・看護学専攻科 入学者選抜情報（予定）

大学院看護学研究科博士前期課程

1.募集人員

専攻	募集人員	選抜区分		
看護学専攻	10名	一般選抜	社会人特別選抜	学内推薦選抜

2.選抜方法

選抜区分	出願資格	選抜方法	試験科目
一般選抜	看護師資格又は看護師国家試験受験資格を有する者で、大学を卒業した者、当該年度に卒業見込みの者又は本学が大学を 卒業した者と同等以上の学力があると認めた22歳以上の者	英語、小論文及び面接試験の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。	◆ 英語（英語外部検定試験※のスコア） ◆ 小論文 ◆ 面接
社会人特別選抜	上記一般選抜の出願資格を持ち、医療機関等や官公庁に在職し、入学時3年以上の実務経験がある者	英語、小論文及び面接試験の結果並びに成績証明書、業績調書の内容等を総合判断して行う。	
学内推薦選抜	本学を卒業予定の看護学部生で、学業成績及び人物ともに優れた者	面接試験による選抜を行う。	◆面接

※本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R（公開テスト）又はTOEFL（iBT）の成績を証明する書類等を提出すること。

大学院看護学研究科博士後期課程

1.募集人員

専攻	募集人員
看護学専攻	2名

2.選抜方法

出願資格	選抜方法	試験科目
看護師資格を有する者で修士の学位を有する者等	英語及び口述試験等を総合判断して行う。	◆ 英語（英語外部検定試験※のスコア） ◆ 口述試験

※本学の入学者選抜に係る出願期限から過去3年以内に受験したTOEIC L&R（公開テスト）又はTOEFL（iBT）の成績を証明する書類等を提出すること。

看護学専攻科

1.募集人員

専攻	募集人員	選抜区分	
公衆衛生看護学専攻	15名	一般選抜	社会人特別選抜
助産学専攻	10名 （女性のみ）		

2.選抜方法

選抜区分	出願資格	選抜方法	試験科目
一般選抜（※1）	日本の看護師資格を有する、又は入学時までに取得見込みの者で、大学を卒業又は入学時までに卒業見込みの者並びに学士の学位を授与された、又は入学時までに授与される見込みの者　（※2）（※3）	専門科目、小論文及び面接の結果並びに成績証明書の内容等を総合判断して行う。	◆ 専門科目 ◆ 小論文 ◆ 面接
社会人特別選抜	上記一般選抜の出願資格を持ち、医療機関等や官公庁に在職し、機関の長から推薦された者	専門科目、小論文及び面接の結果並びに成績証明書、推薦状の内容等を総合判断して行う。	

※1 本専攻科に進学を希望する、一定以上の成績を修めた本学看護学部生を対象に、筆記免除試験を実施します。
※2 放送大学等で所定の単位を修得し、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、又は入学時までに授与される見込みの者をいいます。
※3 既に保健師免許又は保健師国家試験受験資格を有する者は、公衆衛生看護学専攻に出願できません。また、既に助産師免許又は助産師国家試験受験資格を有する者は、助産学専攻に出願できません。

在学生・卒業生インタビュー

在学生



専攻科に進学して、保健師になることを目指しています。

Interviewee

4年生　加納 美咲さん　新潟県｜高田高校出身

富山県立大学を志望した理由は？

本学の看護学部で、認知症などコミュニケーションが取りにくい方へのケア技法である「ユマニチュード」を学ぶことができることに興味を持ち志望しました。考案者のイヴ・ジネスト先生の特別講義も受講でき感激しました。実習に出てそのケア技法で臨むと、穏やかに答えてくれる患者さんが多く、「ありがとう」といっていただきうれしくなります。

県大に入ってここが良かったと思う点は？

県大の看護学部には「看工連携」のカリキュラムがあります。その授業の中ではセンサーマットによる患者さんの転倒防止などについて学び、工学の視点から看護を考えることができました。また射水キャンパスでは工学部の学生と交流する機会もあり、視野を広げる上でとても良かったと思います。看護の実習も、老年、小児、母性など領域別に充実していて、学びがいがあります。

卒業生

Interviewee

杉本 鷹亮さん

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 勤務
看護学科 卒業
研究室:老年看護学講座
富山県｜大門高校 出身



私は今富山県リハビリテーション病院・こども支援センターのこども棟で勤務しています。大学の講義では看護の基本となる理論について学び、ユマニチュードの特別講義を受け、患者さんに優しさを伝えるコミュニケーションについて学びました。さらに実習では実践的な看護技術を体験することができました。そのことは現在の仕事に活用できています。

大学生活では様々な場所から集まった仲間と出会い、互いに助け合い、日々楽しく過ごすことができました。大学で出会った仲間は卒業した今でも大切な存在となっています。ゼミでは少人数ということで、先生との距離が近く、一人ひとりに寄り添い、学習や進路の相談だけではなく、普段の日常に関する話についても親身になって聞いてくださいました。

大学では4年間をかけて看護学の基本から、実践的な知識まで幅広く学ぶことができます。実習でも仲間と助け合い、優しく支えてくださる先生とともに楽しみながら学びを得ることができます。日々の学びを大切にして、仲間との楽しい思い出をたくさん作り、有意義な大学生活を送ってください。

富山キャンパス施設紹介 TOYAMA CAMPUS

光あふれるキャンパスで学ぶ！

最新のシミュレータ教材を備えた看護学実習室や、ゆっくりくつろげるオシャレな休憩スペースなども備え、オンもオフも心地よいキャンパスライフを過ごせます。

富山キャンパスは富山市中心部に位置し、実習先のひとつである富山県立中央病院に隣接しています。

エントランス棟



正門より入るとまず右手に見えるエントランス棟。食堂や売店が入り、明るく居心地の良いオープンラウンジとなっています。

キャンパスストリート



4つの校舎と広場がこのストリートによりつながり、日々、学生や教員との交流を生み出します。

図書館棟



1階は自主学習等に使用できる交流スペース、2階はアクティブラーニングスペース、3階は落ち着いた環境で学修や読書ができる閲覧室を備えた図書館(富山館)となっています。

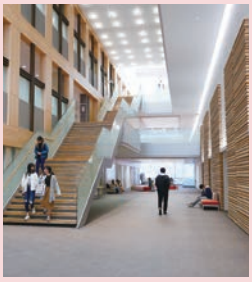
研究棟



充実した研究室を備えた4階建の研究棟。本学の看護学研究の中心となります。大学院と専攻科の設置にともない、2023年4月にリニューアルしました。

教育棟

講義室・実習室・ラウンジ等からなる4階建ての校舎です。建物の中心が吹き抜けのため、開放的でゆったりとした時間が過ごせます。









富山県立大学は あなたの夢を応援します

ドンドンマスマス成長する！富山県立大学

富山県立大学は、全国初の「医薬品工学科」の新設、富山キャンパスと看護学部の新設、DX教育と研究を通して、産学官の連携拠点となる「DX教育研究センター」の開設など、地域や社会の発展のため、施設設備の充実を含む、より魅力ある大学へと挑戦し続けています。

また、2024年4月に情報工学部を新設し、2026年4月には情報工学研究棟を併用開始しました。情報工学部では、「情報」を軸とする工学の専門知識と、データサイエンスの専門知識を兼ね備えた人材の育成や、社会の潜在的課題を見極め、解決策を見出す能力を持った人材を育成します。



情報工学研究棟

学部学科

射水キャンパス

教養教育センター ■工学部・情報工学部・看護学部の教養教育を担当

工学部
- 機械システム工学科
- 電気電子工学科
- 環境・社会基盤工学科
- 生物工学科
- 医薬品工学科

大学院工学研究科
（博士前期課程）
- 機械システム工学専攻
- 電気電子工学専攻
- 環境・社会基盤工学専攻
- 生物・医薬品工学専攻

（博士後期課程）
- 総合工学専攻

情報工学部
- データサイエンス学科
- 情報システム工学科
- 知能ロボット工学科

大学院情報工学研究科
（博士前期課程）
- データサイエンス専攻
- 情報システム工学専攻
- 知能ロボット工学専攻

（博士後期課程）
- 情報工学専攻

富山キャンパス

看護学部
- 看護学科

大学院看護学研究科
（博士前期課程）
- 看護学専攻

（博士後期課程）
- 看護学専攻

看護学専攻科
- 公衆衛生看護学専攻
- 助産学専攻

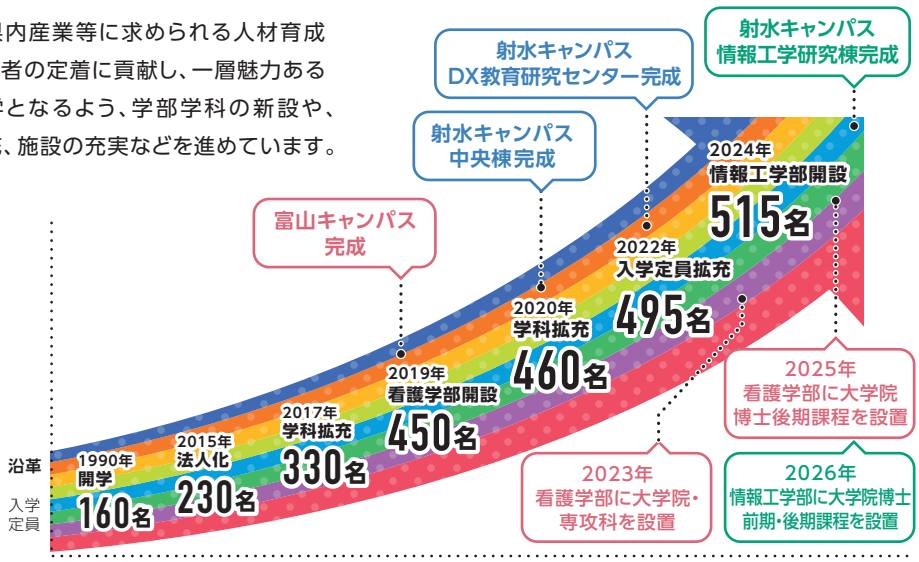






地域に貢献する、より魅力ある大学へ！

県内産業等に求められる人材育成と若者の定着に貢献し、一層魅力ある大学となるよう、学部学科の新設や、拡充、施設の充実などを進めています。







DX教育研究センター

ACCESS



富山までのアクセス時間

東京から

飛行機	
羽田空港～富山きときと空港	約1時間
鉄道	
東京駅～富山駅	約2時間5分
高速道路	
練馬IC～富山IC	約4時間40分

大阪から

鉄道	
大阪駅～富山駅	約2時間35分
高速道路	
豊中IC～富山IC	約4時間15分

名古屋から

鉄道	
名古屋駅～富山駅	約2時間35分
高速道路	
一宮IC～富山IC	約3時間

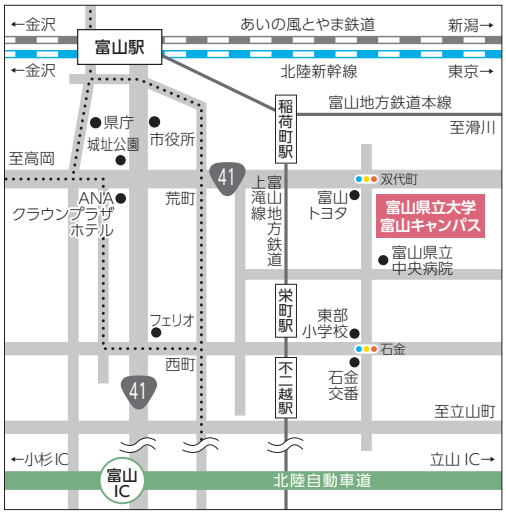
射水キャンパス〈工学部・情報工学部〉



〒939-0398　富山県射水市黒河5180番地
TEL:0766-56-7500(代)　FAX:0766-56-6182

あいの風とやま鉄道小杉駅南口から、徒歩約25分(約2km)、または射水市コミュニティバス「7.新湊・小杉線」に乗車約6分。

富山キャンパス〈看護学部〉



〒930-0975　富山県富山市西長江2丁目2番78号
TEL:076-464-5410(代)　FAX:076-422-6070

JR富山駅、あいの風とやま鉄道富山駅から、地鉄バス「中央病院行」約20分、または地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩約7分。





公立大学法人
富山県立大学
TOYAMA Prefectural University

〒930-0975　富山県富山市西長江2丁目2番78号
TEL:076-464-5410(代)　FAX:076-422-6070
URL:https://www.pu-toyama.ac.jp/

2026年5月刊行